

PAINT IT BLACK

首都高をみると黒く塗りつぶしてやりたくなるんだ。
これ以上色はゴメンだ。すべて黒になればいいんだ。
夏服を着た女の子たちが高架下を通り過ぎていく。
顔を背けざるをえないんだ。僕の闇が消えるまでは。



道路交差点上空を飛び交う首都高速道路の橋脚・橋梁を黒で塗り潰します。高架下の自動車や歩行者からは、構造体がシルエットとして見え、池袋の景色を様々な形で切り取ります。首都高速道路の巨大なテクノスケープが交差点や歩道や、周辺建物から見える様々な風景の「額縁」となり、池袋の新しい情景を創り出します。



構造体への黒色の塗装は、首都高速道路の計画・土木的な特徴である場所ごとのディテールの差異を消し去り、シンプルな黒の太線に見え方を変えて、人々の前に「額縁」となって現れます。不定形の「額縁」は見慣れた風景を新しく、そして鮮やかに切り取って見せることでしょう。都市に張り巡らされた首都高速道路の存在自体による新しいランドスケープを創り出したいと考えました。

